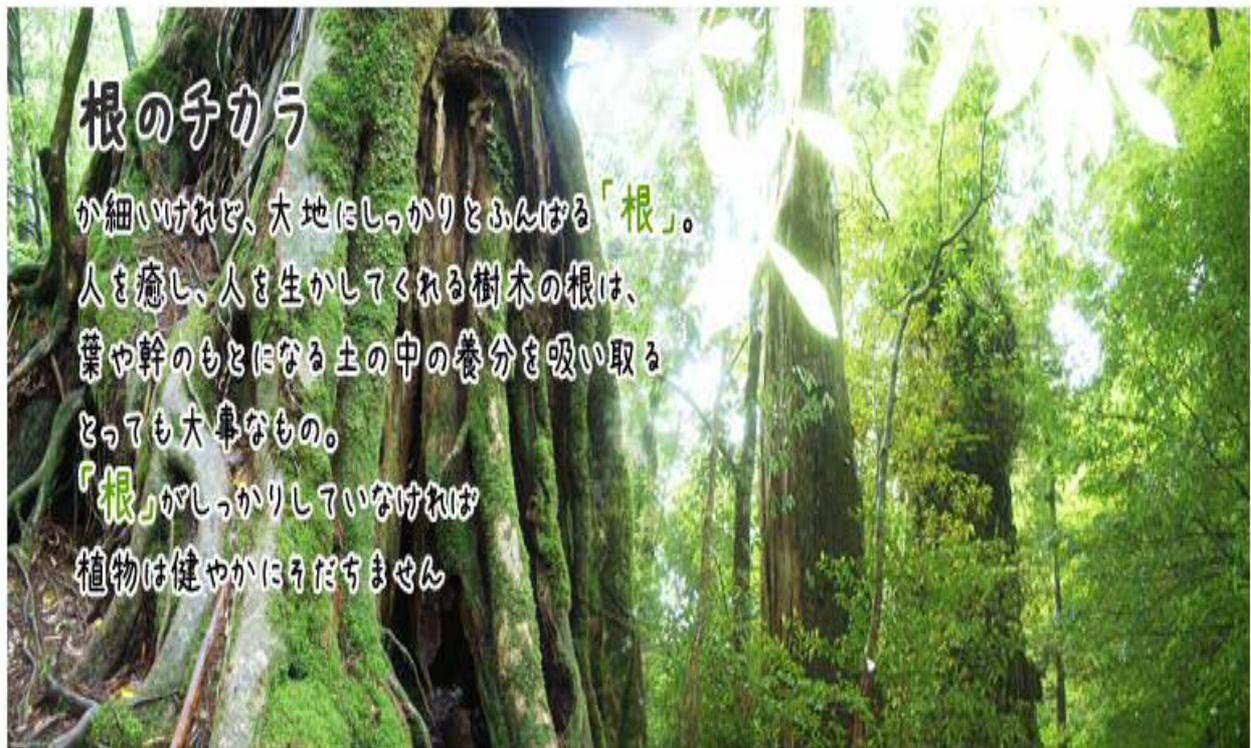


エコアクション21

# 環境活動レポート

40期（平成28年度）  
（平成28年8月～平成29年7月）



発行 平成29年9月1日

株式会社小山千緑園

# 目 次

I.	環 境 方 針	.....	1
II.	組 織 の 概 要	.....	2
III.	当 社 が 行 う 環 境 活 動 の 基 本 的 考 え 方	.....	4
IV.	環 境 目 標	.....	5
V.	環 境 活 動 計 画	.....	7
VI.	環 境 目 標 の 実 績	.....	9
VII.	環 境 活 動 計 画 の 取 組 結 果 と そ の 評 価 、 次 年 度 の 取 組 内 容	.....	11
VIII.	環 境 関 連 法 規 等 の 遵 守 状 況 の 確 認 及 び 評 価 結 果 並 び に 違 反 、 訴 訟 等 の 有 無	.....	14
IX.	代 表 者 に よ る 全 体 評 価 と 見 直 し の 結 果	.....	15

# 環境方針

## 【基本理念】

株式会社小山千緑園は、地球環境保全の重要性を全従業員が認識し、その認識のもとに全ての業務を行うことにより、より良い環境づくりを目指します。

## 【基本方針】

株式会社小山千緑園は、造園建設業の生産活動を通じて「快適な暮らしと健康」、「地球環境への調和」を掲げ、全従業員が事業活動のあらゆる面で地球環境に影響を与えていることを配慮して行動します。

- 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定・見直しなどの効果的な取り組みを行います。
  - 資源のリサイクルの推進と廃棄物排出量の削減。
  - 社内文書ペーパーレス化の推進
  - 使用エネルギー（電気、ガス、軽油、ガソリン）の節約によるCO<sub>2</sub>排出量の削減。
  - 節水。
  - 環境配慮型商品購入の推進。
  - 地域社会貢献活動の推進。
  - 殺虫剤・殺菌剤等薬剤の適正管理。
  - 本社及びびガーデンハウスメルハバによる植樹提案。
  - 緑化による地球温暖化の防止
- 環境保全に関わる法律を遵守し、社会的責任を遂行します。
- 造園建設工事において、行政機関、関連団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し積極的に参画し、地域社会貢献活動を推進します。
- 社会への情報公開として環境活動レポートを作成し、環境取り組みの状況を公表します。

制定日 平成 22年 8月 1日

改訂日 平成 29年 8月 1日

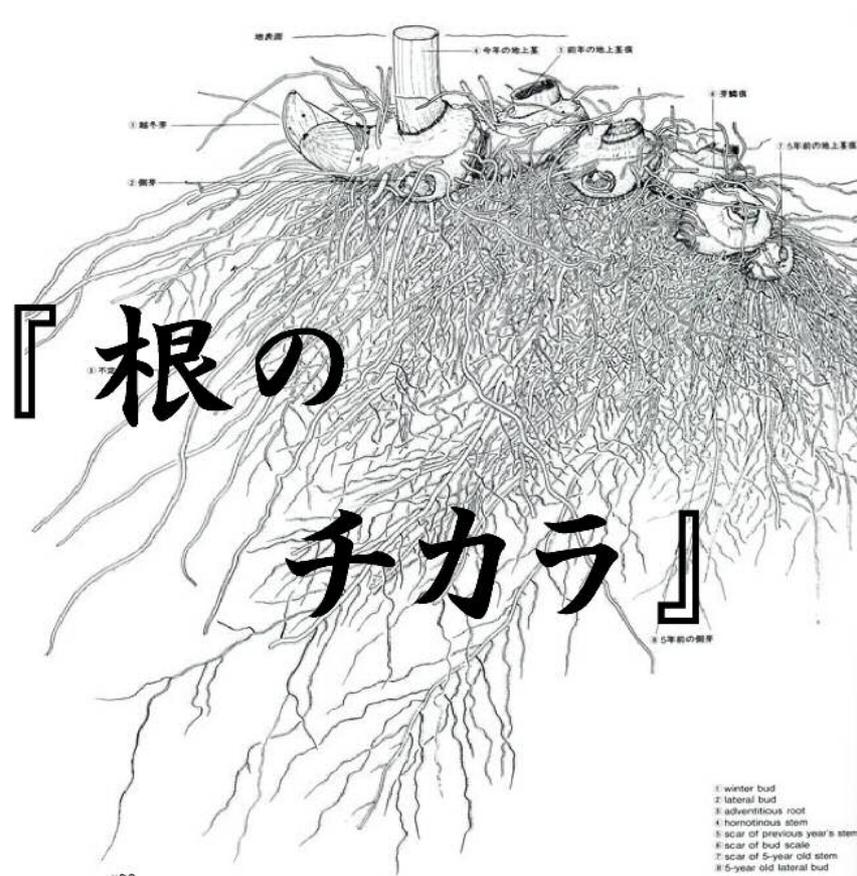
株式会社小山千緑園

代表取締役 小山 徹志

## Ⅱ．組織の概要

### (1) 企業理念

我々は、人間的なふれあいを大切にし、相互の理解と信頼を築き技術の向上で環境緑化に関連する事業を極め、お客様と社会に貢献できる企業を目指す。組織と社員が共存共栄を図り、自己の研鑽と変革に挑戦し時代のニーズにあった企業活動発展、さらに社会的地位と生活の向上を図る。



(2) 事業者名 : 株式会社小山千緑園

(3) 代表者名 : 小山 徹志

(4) 所在地 : 〒 813-0036

本社 : 福岡市東区若宮5丁目9番8号

店舗 : ガーデンハウスメルハバ 福岡市東区若宮5丁目9番3号

メルハバアイランドシティ店 福岡市東区香椎照葉3-4-10

圃場 : 久山圃場 〒811-2503 糟屋郡久山町大字猪野

(5) 設立年月日 : 昭和52年9月1日

(7)環境管理責任者 : 坂根 茂

(8)連絡先 : TEL 092-673-0401  
FAX 092-673-0403  
HP:http://senryokuen.co.jp/  
e-mail:sakane@senryokuen.co.jp

(9)事業内容 : 造園工事一式

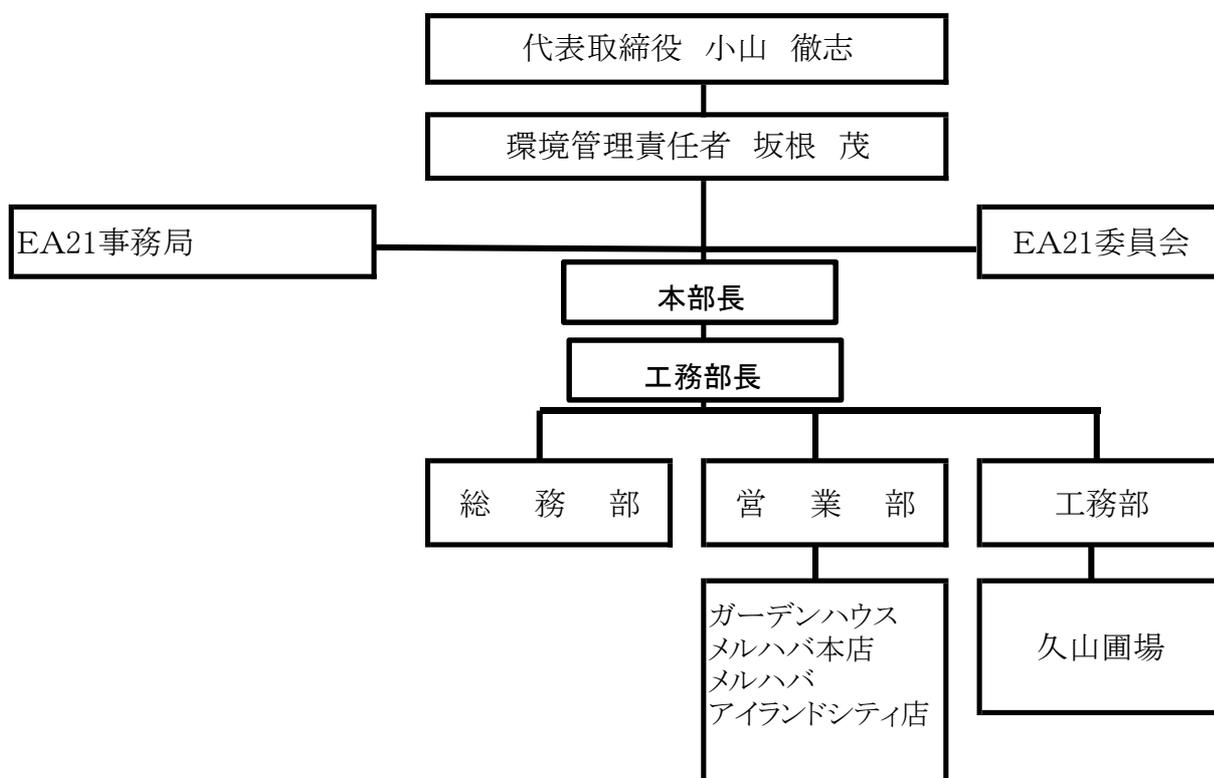
(10)事業の規模 : 資本金 30,000千円

社員 25名

売上高418百万(平成28年度(40期)実績)  
(事業年度:8月～翌年7月)

(11)許可内容 : 建設業許可  
福岡県知事許可 (特)27-109244号  
造園工事業

(12)組織図 : 登録認証範囲



(13)認証登録範囲 : 全組織・全活動を対象とする。

### Ⅲ. 当社が行う環境活動の基本的考え方

- 当社は建設業のため毎年の現場内容により生産量が増減する。そのため、現場での環境活動計画が受注工事内容により変化することは否めないことである。  
ただし、建設発生土のリサイクル率、建設副産物のリサイクル率については受注高の大小、受注工事内容に関わらず目標を設定出来るのでこの目標は確実に達成して行きたいと思う。
- また、環境配慮型商品購入についても事務所、工事現場を問わず推進していきたい。
- 二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量については先述したように工事内容により排出量も増減するので、各現場による管理を行う計画としていきたい。
- 事務所の二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量についてはエアコンの設定温度管理、残業、休日出勤の抑制等により削減していきたい。  
また、事務所内照明をLED化する計画を立て進めていきたい。
- 環境活動対策としては、ガーデンハウスメルハバにより、地域住人との交流を深め、植樹提案やガーデニング講習会等を通じ緑による社会貢献を推進していきたい。
- 経営計画書に基づき各社員に割り当てられた組織、経営労働部会の運営の一環として、環境経営委員会を軸に各委員会と連携し環境活動を進めていきたい。
- 認証取得済みのISO9001と共にCSRを果たすべく、エコアクション21との融合を図りつつ日々の業務に取り組みたい。
- 以上の事を踏まえながら次頁に取りまとめた環境目標、環境活動計画によりエコアクション21に取り組んでいきたい。

## IV. 環境目標

・前述した当社の環境活動に対する基本的考え方を踏まえて、環境目標を事務所と現場に分けて、以下の通り設定した。

### <事務所+店舗>

環境目標	単位	基準年度 39期 (27年度)	単年度目標	中長期目標		
			40期(28年度)	41期 (29年度)	42期 (30年度)	43期 (31年度)
1 二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	39,686	39,289.0 (△1.0%)	39,092.6 (△0.5%)	38,897.1 (△0.5%)	38,702.6 (△0.5%)
2 廃棄物排出量の 削減	t	40	37.0 (△8.0%)	34.0 (△8.0%)	32.3 (△5.0%)	30.7 (△5.0%)
3 総排水量の削減	m <sup>3</sup>	487	475 (△3.0%)	461 (△3.0%)	447 (△3.0%)	434 (△3.0%)
4 環境配慮型商品 (事務用品)の購 入推進	% (購入金額率)	87	90 (+2.0%)	93 (+3.0%)	95 (+3.0%)	98 (+3.0%)
5 地域社会貢献 活動の推進	人日	11	11	12 (+10.0%)	13 (+10.0%)	15 (+10.0%)
6 化学物質 (使用薬剤) の適正管理	表对在庫 相違率 (%)	無し	20	16 (△2.0%)	13 (△2.0%)	10 (△2.0%)
7 メルハバによる 植樹提案	提案件数 成約数 (件)	無し	15	17	18	20
				(+10.0%)	(+10.0%)	(+10.0%)

<現場>

環境目標	単位	基準年度 39期 (27年度)	単年度目標	中長期目標		
			40期(28年度)	41期 (29年度)	42期 (30年度)	43期 (31年度)
1 建設副産物の リサイクル推進	% (リサイクル率)	100%	100	100 (±0%)	100 (±0%)	100 (±0%)
2 建設発生土の リサイクル推進	% (リサイクル率)	100%	100	100 (±0%)	100 (±0%)	100 (±0%)
3 排ガス対策 機械の使用	% (工事使用率)	100%	100	100 (±0%)	100 (±0%)	100 (±0%)
4 環境配慮型商品 (再生資材)の使用 推進	% (購入金額率)	100%	使用資材は 指定品目を 70	70 (±0%)	72 (+2%)	74 (+2%)

備考:・( ) 内%は、対前年度をベースとして削減率を示す。

- ・期(年度)は会計年度 8月～次年7月末までを示す。
- ・化学物質については削減が困難なため、削減目標からは除外したが、「薬剤適正管理」を数値化する事とした。
- ・二酸化炭素排出量における購入電力排出係数は0.387kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)平成19年度実排出係数)を用いた。
- ・事務所からの廃棄物排出量については、一般廃棄物と産業廃棄物の全量で示す。
- ・受注工事の内容により現場環境が大きく変わり環境負荷の内容も年度単位での対比が困難なため、現場の二酸化炭素排出量は目標から除外した。
- ・現場の環境配慮型商品使用推進については品目リストが少ないため基準年度は100%となっているが今年度は指定品目リストを追加し再目標を掲げる。

## V.環境活動計画

・設定した環境目標を達成するため、担当責任者を決めて以下の具体的な活動計画に取り組む。

### <事務所+店舗>

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減（前年度比1%削減）

取組目標	活動項目	責任者
(1) 電気使用量の1%削減	① エアコン設定温度決定 実行	大穂
	② 不要電力消費抑制	大穂
	③ 残業 休日出勤の抑制	本山
	④ 社内電灯LED化計画調査検討	坂根
(2) 車両 燃料の1%削減	① エコドライブの推進	坂根
	② 車両点検整備の徹底	小山(貴)

#### 2. 廃棄物排出量削減（前年度比8%削減）

取組目標	活動項目	責任者
(1) 廃棄物回収コンテナへの投入量8%削減	① 本社内 ゴミの分別回収徹底（種別ゴミ箱設置）	小山(龍)
	② 野良猫・カラス寄り付き対策(コンテナ投入品目制限)	青木
	③ 紙使用量の削減	坂根

#### 3. 総排水量の削減（前年度比3%削減）

取組目標	活動項目	責任者
(1) 節水活動 (水道使用量3%削減)	① 節水活動の推進	本山
	② 雨水利用含む節水活動の推進	川畑

#### 4環境配慮型商品(事務用品)の購入推進（事務用品費合計の90%）

取組目標	活動項目	責任者
(1) 事務用品日合計金額の90%を環境配慮型商品	① 品目リスト作成	大穂
	② 積極的な購入	

#### 5. 地域社会貢献活動の推進（社会貢献延べ人数11人）

取組目標	活動項目	責任者
(1) 事業所、各自宅地域等でのボランティア活動推進	① ボランティア活動に積極的参加 (緑化推進活動を含む)	上畑

#### 6. 化学物質(使用薬剤)の入在庫管理(薬剤入在庫表記入の徹底)

取組目標	活動項目	責任者
(1) 薬剤庫のストック薬剤を入在庫表にて管理する	① 入在庫一覧表の見直し、確実に記入	上畑

#### 7. メルハバによる植樹提案

取組目標	活動項目	責任者
(1) お客様ニーズを把握しテーマに沿ったセールを行う	① お客様アンケートの実施	小山(龍)
	② 施工例集を完備しテーマを決めセールを行う	
(2) 多種多様な植物で多くの人に癒やしを提供する	① ゾーニング毎に癒やしを提供できる植物の提案 (顧客に植物を)	北村

## <現場>

### 1. 建設副産物のリサイクル推進 (リサイクル率100%)

	取組目標	活動項目	責任者
(1)	建設副産物のリサイクル率 100%	① マニフェスト管理の徹底 ② 廃棄物分別の徹底	森廣

### 2. 建設発生土のリサイクル推進 (リサイクル率100%)

	取組目標	活動項目	責任者
(1)	発生土のリサイクル率 100%	① 排出伝票管理の徹底 ② 毎月単位で集計の徹底	内田

### 3. 排ガス対策機械の使用 (使用率100%)

	取組目標	活動項目	責任者
(1)	排ガス対策機械の使用率	① 協力業者への周知徹底 ② 排ガス対策機械の使用	小山(貴)

### 4. 環境配慮型商品(再生資材)の使用推進 (指定品目70%を購入)

	取組目標	活動項目	責任者
(1)	使用資材は独自リスト 70%を環境配慮型商品購入	① 品目リスト作成 ② 積極的な購入	森廣

### 5. 緑化による地球温暖化の防止

	取組目標	活動項目	責任者
(1)	緑化による地球温暖化防止	① 民間工事における緑化推進 (プレゼンで顧客にアピール)	青木

## VI. 環境目標の実績

・39期(平成27年度)における環境目標の達成状況は、以下の通りです。

### <事務所>

・受注工事内容の変化で二酸化炭素排出量は、目標を達成したものの、廃棄物排出量は逆に大きく上回る結果となっている。大幅に増大している。総排水量は夏場の小雨とメルハバアイランドシティ店開業のため上水使用量が大幅に増加して目標未達成となった。環境配慮型商品購入は順調である。

・地域社会貢献活動では、通学児童に対し、事務所倉庫トイレを開放し、何かあったらいつでも駆け込み易い環境が整いつつある。また、地域の祭等への協力も行っている。

環境目標	単位	39期 (平成27年度)		目標 達成率	達成 判定
		目標	実績		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	39,289.0 (△1.0%)	42,169	93%	×
2 廃棄物排出量の削減	t	37.0 (△8.0%)	52.5	70%	×
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	475.0 (△3.0%)	697	68%	×
4 環境配慮型商品(事務用品)の購入推進	% (購入金額率)	90.0 (前年はリスト未整備)	88	98%	×
5 地域社会貢献活動の推進	人日	11 (+10.0%)	11	100%	○
6 化学物質(使用薬剤)の適正管理	表対在庫 相違率(%)	20	未実施	—	×
7 メルハバによる植樹提案	提案件数 成約数(件)	15	20	133%	○

備考 ・目標値( )内は前年対比の削減率を示す。

- ・目標達成率の計算 : (削減目標の場合) 目標÷実績%
- : (増加目標の場合) 実績÷目標%
- ・達成判定区分 : ○ 目標達成 × 目標未達成

## <現場>

・4項目中全項目で目標を達成したが、環境配慮型商品については、作成リストの品目が少なく、リストの品目を増やして意識向上を図りたい。

ただし、各項目ともに公共工事の内容に大幅に左右されるため、今後もコストを考慮しつつ取り組んでいきたい。

環境目標	単位	38期(平成26年度)		目標達成率	達成判定
		目標	実績		
1 建設副産物のリサイクル推進	% (リサイクル率)	100	100	100%	○
2 建設発生土のリサイクル推進	% (リサイクル率)	100	100	100%	○
3 排ガス対策機械の使用	% (現場使用率)	100	100	100%	○
4 環境配慮型商品(再生資材)の使用推進	% (購入金額率)	70	100	143%	○
5 緑化による地球温暖化防止		助成金紹介 顧客説明	具体的 成果無し	—	×

備考 ・目標値( )内は前年対比の削減率を示す。

・目標達成率の計算 : (削減目標の場合) 目標÷実績%

: (増加目標の場合) 実績÷目標%

・達成判定区分 : ○ 目標達成 × 目標未達成

## VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

- ・環境目標の達成に向けて取り組んだ環境活動計画の実施状況は、以下の通りです。
- ・事務所+店舗の取組については、車両点検整備及び化学物質の入在庫管理及びメルハバ店舗での活動では十分な結果が得られませんでした。他の項目については、社員の意識が高まってきており、結果が出てきています。

### <事務所+店舗>

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 電気使用量の1%削減	① エアコン設定温度決定 実行	○	数値目標は未達だが、エアコン温度管理は定着したPC、電灯のOFFも習慣化しつつある	エアコンは設定温度ではなく室温で管理していきたい。
	② 不要電力消費抑制	○		
	③ 残業 休日出勤の抑制	△	ラインで残業報告を全社員に向け発信する事が定着。	社内ルールを策定し周知させる。
	④ 社内LED化計画調査検討	△	全国的企業内照明LED気運の減速で見送り	引き続き調査続行と社内エアコンの付け替え検討
(2) 車両 燃料の1%削減	① エコドライブの推進	△	周知徹底されつつある。	個人所有車と社用車利用との意識格差是正を行いたい。
	② 車両点検整備の徹底	△	点検一覧表作成整備が出来ていない。	各車両点検一覧表は作成したが自発的行動につなげたい。

#### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 廃棄物回収コンテナへの投入量8%削減	① 本社内 ゴミの分別回収徹底 (種別ゴミ箱設置)	△	大田園場への放置は出来たが、その管理が出来ない	各現場から搬出する段階でのルール作りが必要
	② 野良猫・カラスの寄り付き対策 (コンテナ投入品制限)	△	生ゴミ等の投入は少なくなり、猫カラスはほぼ来なくなった。	社内的には整ってきているが、現場からの回収ゴミ対策が課題
	③ 紙使用量の削減	△	ペーパーレスFAXが定着していない	ペーパーレスシステム導入は出来ているが、活用がうまく出来ていない。啓蒙を促進

#### 3. 総排水量の削減

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 節水活動(水道使用量3%削減)	① 節水活動の推進	△	社内の節水活動がマンネリ化している。	水の大切さを意識できる取組をしたい。
	② 雨水利用含む灌漑用水の節約	△	実質的に使用水は増えてはいるが、効率的な灌漑は出来ている。	最新型の薄いタンク導入を検討。運用計画を立てたい。

#### 4. 環境配慮型商品(事務商品)の購入推進

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 事務用品費 合計金額の 90%を環境配 慮型商品	① 品目リストの作成	○	品目リストも増え担当者も積極的に動いている。	環境配慮型商品が無い品目購入頻度が高い月は未達になるが目的は達成できている。
	② 積極的な購入	○		

#### 5. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 事業所、各自宅 地域等での ボランティア活 動推進	① ボランティア活動に積極 的参加 (緑化推進活動を含む)	△	受動的な活動が目立つ、自宅周辺でのボランティアは活動している。	年間の目標は達成したが、地域との積極的なつながりをさらに深めていきたい

#### 6. 化学物質(使用薬剤)の入出庫管理

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 薬剤庫のストック薬剤を 入出庫表にて 管理する	① 入出庫一覧表の見直し 確実に記入	×	結果的に入出庫管理表が機能していない。	早急に管理表を機能させ、薬剤使用者に啓蒙する必要が有る。

#### 7. メルハバによる植樹提案

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) お客様ニーズを把握しテーマに沿ったセールを行う	① お客様アンケートの実施	×	アンケートは実施し改修も出来ているが、分析がうまく出来ていない	ISO取組とも連動しているため集計活用が出来る仕組みの構築を急ぎたい。
	② 施工例集を完備しテーマを決めセールを行う	×	本社とメルハバとの連携が取れていない。	メルハバの店舗コンセプトの根本的見直しが必要

## <現場>

- 建設副産物のリサイクル推進については、小規模工事で発生した少量ゴミも現場での処分が進んできたが、分別が出来ず中間処理業者に搬出している産廃処分が今後の課題。
- 建設発生土のリサイクル推進は、民間工事での社内把握もほぼ出来てきた、小規模工事の少量発生土の管理をさらに強化したい。
- 環境配慮型商品(再生資材)の使用推進は、今後、品目リストを増やしさらに積極的に取り組みたい。

### 1. 建設副産物のリサイクル推進

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 建設副産物のリサイクル率100%	① マニフェスト管理の徹底	○	公共工事でのマニフェスト管理は完全に出来ているが、小規模工事の少量産廃についてもほぼ集計出来てきた	本社の産廃ボックス投入品目制限を強化したい
	② 廃棄物分別の徹底	△	公共工事での産廃は完全に出来ている	民間工事もさらに徹底できるように指導が必要

### 2. 建設発生土のリサイクル推進

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 発生土のリサイクル率100%	① 排出伝票管理の徹底	○	公共工事伝票は良く管理されている。民間工事でも社内把握が出来てきた。	小規模民間工事での発生土の処分をさらに考慮
	② 毎月単位で集計の徹底	○		

### 3. 排ガス対策機械の使用

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 排ガス対策機械の使用率100%	① 協力業者への周知徹底	△	担当者が勉強不足であったが排ガス対策車の利用は完全に出来ている。	新対策規格車両、機械へのシフト 下請け所有機器の把握
	② 排ガス対策機械の使用	○		

### 4. 環境配慮型商品(再生資材)の使用推進

取組目標	活動項目	実施状況	評価	次年度に向けての取組
(1) 使用資材は独自リスト70%を環境配慮型商品	① 品目リスト作成	○	リストを作成しているが品目が少なくその中では達成している	再生資材独自リスト品目を増やしリストを再構築する
	② 積極的な購入			

## VIII. 環境関連法規の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に係わる主な環境関連法規は、以下の通りです。
- ・40期(平成28年度)の事業活動における法令遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありませんでした。

主な環境関連法規	主な遵守事項	遵守結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業者は一般廃棄物の処理を法第7条第12項に規定する許可業者その他環境省令に定める者に委託しなければならない。 【委託契約書の確認を毎年実施】	○
	産業廃棄物が運搬されるまでの間の保管の基準 【廃棄物を社内または現場に保管する場合の基準が定められています(技術基準)】 ・囲い ・表示(60×60センチ) ・表示内容(産廃種類、氏名、連絡先) ・積み上げ高さ ・飛散・流出・地下浸透・悪臭防止 積み上げ勾配 など	○
農薬取締法	水質汚濁性農薬の使用の規制 使用者の教育(農薬指導士)	○
特定外来生物による生態系等に係わる被害の防止に関する法律	特定外来生物は外で放ち植え又はまいてはならない。 情報収集、整理分析並びに研究の推進を講ずるよう努めなければならない	○

## VIII. 環境関連法規の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に係わる主な環境関連法規遵守活動は、以下の通りです。
- ・40期(平成28年度)の事業活動における法令遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありませんでした。

主な環境関連法規 遵守取組活動	主な遵守取組活動事項	遵守結果
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	事業者は一般廃棄物の処理を法第7条第12項に規定する許可業者その他環境省令に定める者に委託しなければならない。 【委託契約書の確認を毎年実施】	○
	産業廃棄物が運搬されるまでの間の保管の基準 【廃棄物を社内または現場に保管する場合の基準が定められています(技術基準)】 ・囲い ・表示(60×60センチ) ・表示内容(産廃種類、氏名、連絡先) ・積み上げ高さ ・飛散・流出・地下浸透・悪臭防止 積み上げ勾配 など	○
農薬取締法	水質汚濁性農薬の使用の規制 使用者の教育【社員の農薬指導士資格取得】	○
特定外来生物による生態系等に係わる被害の防止に関する法律	特定外来生物は外で放ち植え又はまいてはならない。 情報収集、整理分析並びに研究の推進を講ずるよう努めなければならない【樹木・花苗仕入れ時に確認】	○

## IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

### (1) 40期(平成28年度)取組評価について

- ・環境に対する意識は社員間で年と共に全体的には高まってきているが、社員間で意識の高さにいまだばらつきはある。
- ・二酸化炭素排出量の削減は、数値上未達だが、電気使用量等かなり定着してきている。燃料使用量削減にさらに取り組んで貰いたい。
- ・廃棄物排出量は、今年度例年に無く多かった。この原因を分析し、対策して貰いたい。
- ・総排水量に関しては、取組意識は高いが、結果的に削減目標は達成できていない。今後は雨水利用等積極的に取り組んで貰いたい。
- ・環境配慮型商品購入は、リストも充実してきており、担当者の意識も高い。
- ・地域社会貢献活動は社員間格差が大きい、会社全体としての取組の仕組みを考慮する必要がある。
- ・薬剤庫管理は早急に機能させて貰いたい。
- ・環境経営システムは、経営計画書の経営労働部会とうまく連動し、機能してきている。さらに仕組みが回るように取り組んで貰いたい。

### (2) 見直しの必要性和指示について

- ・灌水システム不備という本業とは多少違う部分からの苦情があった。幅広い知識を持って対処すれば未然に防げることも多くさらに勉強会等で知識を身につけて貰いたい
- ・老朽化したエアコンの取替が徐々に進んでいる。電灯LED化計画は社会情勢を含め、調査、熟慮し決定して貰いたい。
- ・本社に置いてある廃棄物ボックスへのゴミ投入について、社員、協力業者についてはかなり意識が高まっているようだが、それでも直営職人含め一部の者の意識が低すぎる。罰則規定を作る等、対策を強化して貰いたい。
- ・燃料消費での現場での二酸化炭素炭素排出量削減に向けての取組が進んできているが具体的対応が出来ていない。何らかの数値目標を立てて取り組んで貰いたい。